

評価励みに一層努力

第3回南日本 経済賞贈賞式 3企業・団体が抱負

第3回南日本経済賞の贈賞式が二十三日、
（南日本新聞社主催）鹿兒島市の南日本新聞



会館であり、鹿北製油（潮水町）、ストーンワークス（大崎町）、農事組合法人・南州農場（南大隅町）の三企業・団体に賞状と副賞が贈られた。

式には受賞者と選考委員らが出席。南日本新聞社の本館第一社長が「それぞれが地元の本物を使い、付加価値を高め、鹿兒島を代表する商品に育てた。地域経済のけん引役としてますます活躍してほしい」とあいさつ。選考委員長の宮瀬南充（鹿児島大学法文学部教授）が選考経過を報告した。

受賞した鹿北製油の

和田久輝社長（右）は「受賞を機に、契約栽培したいという農家が増えたのが喜び。国産油の引き合いは多く、さらに産地拡大を図りたい」と語った。

ストーンワークスの上中誠社長（右）は「開発から施工、維持管理まで多くの支えあつての受賞。全国へ発信する中で、地元での評価は大きな励みになる」と喜びを話した。

南州農場の本田信一代表理事（右）は「思いがけない受賞で恐縮している。『食』に携わる者として、これからも消費者を裏切らない経営をしていきたい」と誓った。

同賞は南日本新聞社が創立百二十五周年、改題六十周年を記念し、二〇〇六年創設した。

第3回南日本経済賞贈賞式

主催 南日本新聞社

南日本経済賞を受賞した（左から）南州農場、ストーンワークス、鹿北製油

二十三日、南日本新聞会館（写真部・橋口圭昭）